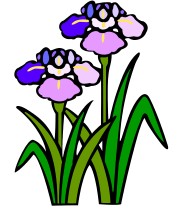


末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより

令和4年 5月号

学習だって 今だからこそ



学校長 高山 和宣

子どもたちは、学習や生活の中で簡単な課題に出会ったときに、それを軽んじることも多く、問題の本質を考えたりそれを生かそうとしたりはなかなかできないものです。

実は私の場合も、難しいことになってしまってから、何とかならないものかと、苦しい戦いに挑むことが多々あります。

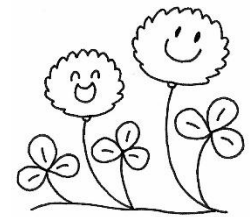
教師は授業を行っているときに、「今、このことをしっかりと学習しておく、後になって生活や自分づくりなどにとっても役に立つだろうなあ」と感じる事がよくあります。

一方で、子どもたちにとってその学習は、つまらないことだったり必要感を感じられないものだったりもします。教師がここでしっかり学習を進めて定着させようがむしゃらに指導をしても、必要感や興味のないことに対しては子どもたちは、歓迎しません。

学校の学習では、今だから簡単にできるけれど、後になると簡単にできなくなることはたくさんあります。例えば、かけ算九九や漢字の学習などもそうです。計画的に学習するその時期を逃してしまうと、後になって同じだけの内容、量を身に付けようとしても定着に大きな努力が必要だし、その後の反復学習となる機会も損なわれます。

その時だからこそ学ぶ価値のある最高の場面であるはずなのに、気づくことはなかなかできないものです。

そこで、末吉小学校では必要感や必然性、あるいはやってみたいという思いを大切に、身に付けさせたい事柄は「今」身に付けさせることができるよう学習をつくっていきたいと考えています。



不安定、不確定、複雑で曖昧な未来と言われていますが、大人も子どもも、その未来はその人の今の積み重ねでつくられていくことに変わりはありません。今だからこそできること、今だからこそ大切なことを明らかにして、最適な時を捉え、一人ひとりの成長を確かなものにしていきたいと考えています。ゴールデンウィークとなりお休みも多くなりますが、その間であっても是非有意義な「今」を過ごして欲しいと願っています。

